

卒業生会（松風会）入会式

校長あいさつ

先ほど本校卒業生会、松風会に入会されました皆さんを、私も松風会員の一人として歓迎します。邇摩高校の卒業生というブランドを背に、これからそれぞれの道で活躍してください。期待しています。

明日は卒業式です。担任が卒業生一人ひとりの名前を呼び、卒業生は返事をしてその場に起立する。どこの卒業式でも見られる光景なのですが、高校卒業という人生の節目であり、転機を、決意も新たに新しい生活への希望や意欲が持てるような卒業式にしたいと、どこの学校の教員も思います。もちろん、本校の教員も全員同じ気持ちです。今年の卒業式は、多くの学校が、昨年につき、卒業生と保護者、教職員のみで行うようですが、本校は1・2年生も参加して行います。

そのため、卒業生を含めた参列者が、厳粛で清新な中で、集団の場における規律や、気品ある態度で式に臨むことが大切で、そこで卒業生は大きな声で返事をし、姿勢良く背筋を伸ばしてスッと起立するという行為を全員が行うことが品格のある卒業式につながっていきます。その皆さんの姿を1・2年生にも見せたいという思いから在校生も参加するように決めました。

さらに、名前を呼ぶという担任の行為ひとつとっても、担任のその生徒に対する思いがありクラスへの愛情が溢れるものです。3年の担任が名前を呼ぶのですが、教科指導や部活動指導などを行った教員すべてが皆さんの卒業証書授与式での呼名と、返事と、起立に注目しています。

このような、厳粛な中にも愛情があり規律と品格があり、教職員・在校生と共に卒業生の新たな出発に対し、餞の思いが込められた式になることを願っています。明日の式はこれまで教員が行っていた進行を、さらにこれまで教頭先生が行っていた、開式・閉式のことば、来賓紹介・祝詞祝電披露を生徒が行います。立派な式にしようとして在校生もこれまで準備してきました。

この単純な行動を真剣に行うことが、邇摩高校の卒業生としての誇りであり、3年間この学校で学んできたことや、これまで育て、支援してくれてきた家族の皆さんへの感謝と恩返しになります。松風会へ入会することへの誇りと、愛校心を持って明日の卒業式に臨んでほしいと思います。

本日の松風会入会式で、会長の大島 淳 様から卒業生のために歌のプレゼントがありました。長瀬 剛さんの“幸せになろうよ”を熱唱していただき、感動と感激の時間となりました。

